

地域再生プロジェクト調書

市町村名

せたな町

1 地域再生プロジェクト概要（プロジェクト全体）

実施地域	市町村名：せたな町 民間団体名：北檜山恵福会・大成慈恵会・社会福祉協議会・株式会社日総・有限会社大成ハイヤー・有限会社東ハイヤー・福祉サポート「かもめ」・高齢者事業団・せたな町姉妹都市交流推進協議会・北海道健康づくり財団・財団法人貝取潤温泉公社	計 1市町村 11団体
プロジェクト名	生涯せたな町で暮らすプロジェクト	
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	<p>地域の課題</p> <p>平成17年9月1日に合併したせたな町は、旧町各々に歴史と特徴を有しており、これから新たな町を創っていくためには町民と行政が旧町の垣根を越えて一つになることが必要不可欠であるが、現状に至っては未だ一体感が欠如しており町づくりを進めるための課題も山積みされている。</p> <p>当町の基幹産業は農林業・漁業であるが、国外からの安い輸入産物による価格の低迷、水産資源の乱獲による資源の枯渇など長きに亘る一次産業の低迷や後継者不足、若年層の都市圏への流出により、生産力の低下による地域経済基盤の弱体化が著しい。</p> <p>また、商工業については大型店の進出等により市街地の空き店舗が増加し、少ない公共交通機関、未整備道路箇所もあるという地理的条件は新たな企業進出の足枷となり若者の雇用の場も乏しい。</p> <p>一次産業の低迷、限られた雇用の場では若年層の都市圏への流出を促し少子高齢化を加速させ、高齢者比率は年々増加し中心地以外の多くの集落は高齢者世帯で形成されている状況である。</p> <p>今後更なる少子高齢化、過疎化の進行は住民相互の交流・支え合いが困難となり地域コミュニティの弱体化だけでなく、地域そのものの消滅に繋がるという強い危機感を持っている。</p> <p>この様な高齢化を迎えている当町の医療体制は、平成19年4月1日より1町立病院、2診療所として医療再編を行った。しかしながら、町内の医療施設には高度医療機器がなく都市圏の医療機関への受診に対する依存度が高く、救急医療時においても搬送に時間を費やすという地理的条件も重なり町民の健康と福祉に対する不安は大きい。</p> <p>また、保健・福祉・医療分野での行政の役割や負担が益々増大し、特に社会保障に係る財政負担は極めて多大となる事が見込まれる。「医療と福祉の充実」を望む声は多く、町に課せられた命題とも言える。</p> <p>プロジェクトの目標</p> <p>実情と町民の声を聞き、「一生涯安心してせたな町で暮らす環境づくり」を目指し、高齢者のみならず若年層も対象とした健康づくりを町民と行政が一体となって取り組み、健康に対する知識と自主的な健康づくりへの取り組みへの意識向上を図るとともに、子育て環境の整備による母子保健の充実や生活習慣病予防・介護予防事業を強く推進する。</p> <p>高齢者大学の開講、外出支援サービスを提供することにより高齢者や障害者の積極的な社会参加を促し、在宅介護サービスを実施する</p>	

	<p>ことにより、介護に従事している家族の心身に対する負担の軽減を図る。</p> <p>各地域住民一人ひとりの「助け合う心」が最も重要な柱となるため、身近な地域社会における福祉体制づくりを強化する。</p> <p>その一環として、町内の若者が冬期に率先して、高齢者世帯・独居世帯の除雪作業ボランティアを実施したり、町職員が各地域町内会行事への協力、意見・要望・提言の把握など「身近なまちづくり担当職員」として町内会の支援を行っている。</p> <p>生涯安心して生活する為には、「医療・福祉の充実」だけではなく、基幹産業である一次産業の活性化も必要不可欠であり、若い担い手育成と新規就業者への助成やセミナーを開催し学習機会の場を提供し、情報交換や交流の場を設け経営意欲の向上や資質の向上を図る。</p> <p>また、積極的な観光PRを行い町の知名度を高めるとともに、国際交流の実施により町の魅力の向上を図り、移住者の増加と若年層の流出を防止し地域活性化に努める。</p> <p>この他にも日常生活の安全を確保するため街路灯新設による防犯強化、一生涯を無駄にしてしまう悲惨な交通事故の撲滅を図るため、交通安全啓発活動を実施する。</p> <p>町民と行政が新町としての一体感を自覚し、住民一人ひとりが地域で助け合い、支え合いながら健康で幸せに暮らし続けることができる新たな町づくりを進めるため、「生涯せたな町で暮らすプロジェクト」を策定した。</p>				
<p>是正を目指す 格差の状況</p>	<p>格差の分野</p> <p>社会構造の格差 地域経済の格差</p> <p>地方行財政の格差 医療・福祉の格差</p>	<p>地域経済の格差を客観的に比較する選択指標</p> <p>[一人当たり課税所得 完全失業率 観光入込客数]</p> <p>医療・福祉の格差を客観的に比較する選択指標</p> <p>[少子化率 医師・歯科医師数 医療・福祉就業者数]</p>			
<p>期待される効果 (指標)</p>	<p>具体的な格差の状況(客観的なデータ等)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;"> <p>〔 少子化率 〕・市町村 11.6</p> <p>〔 (17年度) 〕・全道 12.7</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>〔 高齢化率 〕・市町村 33.4</p> <p>〔 (17年度) 〕・全道 19.6</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>〔 () 〕・市町村</p> <p>〔 () 〕・全道</p> </td> </tr> </table> <p>交付金支援期間終了時の成果目標</p> <p>子育て環境の整備や母子保健事業を充実させ、さらには妊婦検診の拡大を図り少子化率の向上に努めたい。</p> <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化率 H17: 11.6% H23: 11.7% ・高齢化率 H17: 33.4% H23: 33.4% <p>将来的な成果目標(概ね10年後)</p> <p>一生涯安心してせたな町で暮らす環境づくりに努め、移住者の増と若者の都市部への流出を抑えるような魅力あるまちづくりを行い、少子化率の向上を図りたい。</p> <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化率 H17: 11.6% H27: 11.8% ・高齢化率 H17: 33.4% H23: 33.4% 		<p>〔 少子化率 〕・市町村 11.6</p> <p>〔 (17年度) 〕・全道 12.7</p>	<p>〔 高齢化率 〕・市町村 33.4</p> <p>〔 (17年度) 〕・全道 19.6</p>	<p>〔 () 〕・市町村</p> <p>〔 () 〕・全道</p>
<p>〔 少子化率 〕・市町村 11.6</p> <p>〔 (17年度) 〕・全道 12.7</p>	<p>〔 高齢化率 〕・市町村 33.4</p> <p>〔 (17年度) 〕・全道 19.6</p>	<p>〔 () 〕・市町村</p> <p>〔 () 〕・全道</p>			
<p>プロジェクト の公表方法</p>	<p>町広報誌・町ホームページ</p>				

2 地域再生プロジェクト構成事業（今年度実施分）

（千円）

No	事業名	事業概要	事業費	財 源 内 訳					交付金要望額
	実施主体			国の支援制度	道の支援制度	市町村補助等	自己財源	その他	
1	高齢者及び身障者入浴料金助成事業	外出機会の少ない高齢者・身障者が、外出の機会を増やし、地域と交流する機会を設けるため、町直営の温泉施設を利用する場合、入浴料の助成を行う。	1,473	(名称)	(名称)		1,473	(名称)	1,376
	せたな町（公）・財団法人取瀬温泉公社（企）								
2	緊急通報サービス事業	一人暮らしや高齢者夫婦世帯に通報システムを設置し、緊急時の安全を確保する。	1,446	(名称)	(名称)		1,446	(名称)	0
	せたな町（公）・北海道健康づくり財団（企）								
3	障害者外出支援サービス事業	外出が少なくなりがちで、交通機関の利用困難な重度障害者に対し、外出の機会を増やし地域と交流する機会を設けるため、外出支援のためのタクシー券を交付する。	1,157	(名称)	(名称)		1,157	(名称)	1,082
	せたな町（公）・東ハイヤー（企）・大成ハイヤー（企）・かもめ（企）								
4	高齢者支援事業	75歳以上の単身世帯及び高齢者のみの世帯を訪問する。	2,000	(名称)	(名称)		2,000	(名称)	0
	せたな町（公）								
5	母子保健事業	幼児の健康診査、子供の健康づくり講座を開催し、母子保健の知識普及に努める。	514	(名称)	(名称)		514	(名称)	481
	せたな町（公）								
6	予防接種事業	伝染のおそれがある疾病の発生と蔓延を予防するための予防接種の実施。	4,597	(名称)	(名称)		4,597	(名称)	4,292
	せたな町（公）								

2 地域再生プロジェクト構成事業（今年度実施分）

（千円）

No	事業名 実施主体	事業概要	事業費	財源内訳					交付金要望額
				国の支援制度	道の支援制度	市町村補助等	自己財源	その他	
7	健康づくり推進事業	若年層の健康診査と禁煙治療に対する一部助成を行い、疾病の予防・健康意識の高揚を図る。	2,755	(名称)	(名称)		1,114	(名称) 受益者負担・利用料収入	1,041
	せたな町（公）							1,641	
8	保育所通園助成事業	3町合併に伴い保育園の統合を行ったことから、廃止保育園地区の住民不利益を避けるため、該地区の児童が大成保育園へ通園する交通費を助成する。	588	(名称)	(名称)		588	(名称)	550
	せたな町（公）・函館バス株式会社（企）								
9	高等学校通学生徒定期券補助事業	次の世代を担う地域の生徒の健全な育成と教育の場を確保するため町内に住所を有し、路線バスにより檜山北高等学校及び瀬棚商業高等学校へ通学する生徒への定期券購入に対する補助。	2,763	(名称)	(名称)		2,763	(名称)	0
	せたな町（公）								
10	高齢者大学	高齢者を対象に様々な講座等を実施し、生涯学習の実践と福祉・交流を促進する。	482	(名称)	(名称)		482	(名称)	432
	せたな町（公）								
11	産業担い手育成事業	町内で新たに産業を営み、また新たに就業する者に支援を行う。	1,250	(名称)	(名称)		1,250	(名称)	1,167
	せたな町（公）								
12	観光PR事業	各メディアに取り上げられた手作りの観光ポスターを作製し町のPRと活性化に寄与する。	500	(名称)	(名称)		500	(名称)	467
	せたな町（公）								

13	国際交流事業	姉妹都市提携を結んでいるアメリカ合衆国ハンフォード市との交流を推進する。	925	(名称)	(名称)		925	(名称)	658
	せたな町姉妹都市交流推進協議会(公)								
14	防犯・交通安全対策事業	交通安全に対する意識の高揚を図るため、街頭啓発等を実施する。	485	(名称)	(名称)		485	(名称)	454
	せたな町(公)								
計	事業数 [14] 実施主体数 [8]		20,935				19,294	1,641	12,000